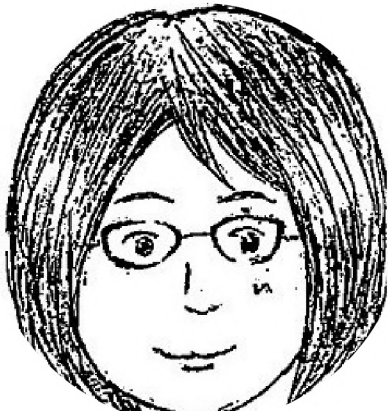


教えて 学んで 楽しもう

学びのトレジャー



Vol.3

2024年1月12日

オンラインを併用したふれあい体験 (A家族・家庭生活) 3年生

北海道札幌市立北栄中学校

名久井 あけ美 先生

コロナ禍が続き、体験的な学習がほとんどできなくなり、味気ない授業の日々が続き途方に暮れていた。そんな中、札幌市の子育て支援課と連携し「次世代育成支援事業」としてICTを活用したふれあい体験を行うことになった。

卒業を意識し始めた3年生に対して行うこの学習は、子どものかわいさを実感することはもちろんであるが、自分の育ってきた家族や親の気持ちをイメージしたり、将来の自分の家族を思い描いたりするきっかけにもなっている。3年間の授業の中で私の一番好きな1コマである。

ふれあい体験実施までの流れ

- (1) 夏休み 子育て支援課と打ち合わせを行う。親子の募集方法（乳幼児検診でのPR・声かけ）、当日の流れ、準備する物品、子育て支援課への派遣依頼の内容など。
- (2) 事前の生徒への指導 幼児についての学習、親子への質問の準備、当日の流れの確認、各学級2台のICTの準備、授業後のフォームへの入力。
- (3) 2日前 子育て支援課が幼児の遊び場所の設置とおもちゃの搬入、控室の整備。



ふれあい体験

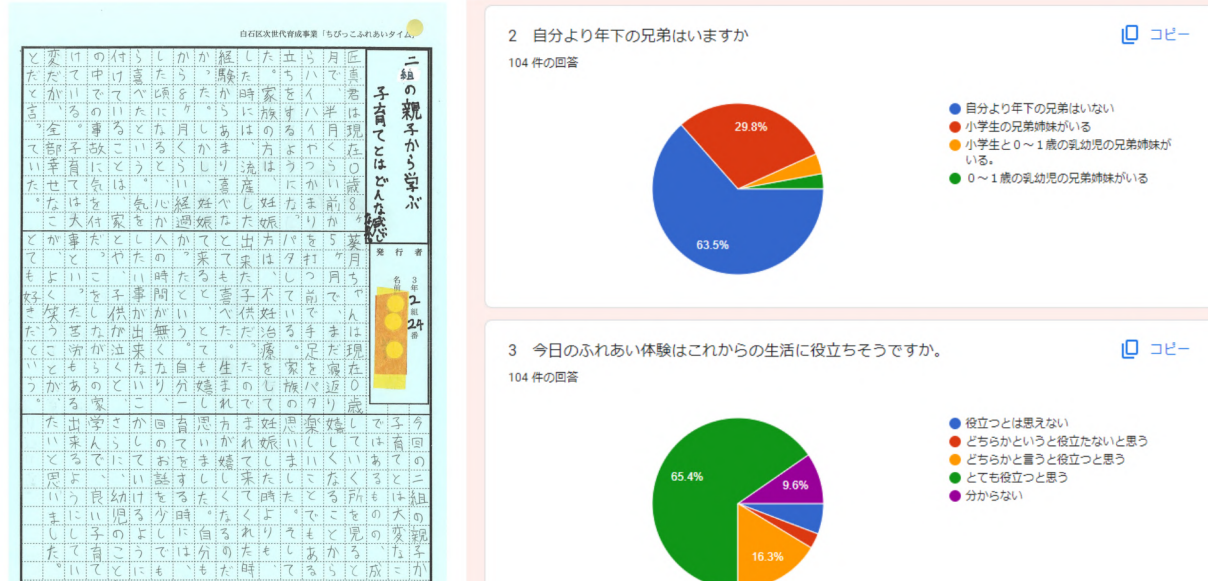
(1) 実践

保育士から区役所内の「ちあふる」の説明。幼児の親から、幼児の成長や生活の様子を簡単に説明。生徒からの質問。（ここまで30分程度・オンライン）生徒が多目的室に移動し、実際の親子と対面。お礼と感想を伝える。生徒は教室に戻り、振り返りをフォームに入力。



(2) 事後指導

ふれあい体験のまとめを作成。（1時間）



開隆堂